

科 目 名		学年		
国語Ⅳ : Japanese IV		4M		
教 員 名 薄井信治 : USUI Shinji				
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態	学 修 単 位
1	100分×15回	必修	講義・前期	○
授 業 概 要 各演習課題について、アウトラインを作るポイントをつかませ、実際に作文に書くときの注意事項を理解して作文を書かせる。				
到 達 目 標			評 価 方 法	
(1) 演習課題についてアウトラインを作ることができること。 (2) アウトラインをもとに、論理的で平易な文章で作文が書くことができること。			①作文の平均(90%)、②期末試験(10%)を総合して評価する。ただし、未提出は0点として計算する。	
学 習 ・ 教 育 目 標		G①	JABEE基準1(1)	(f)
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス	授業の進め方、アウトラインの作り方、800字の作文の書き方を理解する。	
	第2	演習1	「自分の弱点とそれをどうなおすか」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第3	演習2	「学校での勉強を会社でどう生かすか」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第4	演習3	「私の職業観」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第5	演習4	「学生生活で得たものは何か、それを会社でどう生かせるのか」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第6	演習5	「私の人生観」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第7	演習6	「自己を語るⅠ」の作文を書く。	
	第8	中間まとめ	折り返し点で、これまでの反省をし、次回からの作文に生かせるようにする。	
	第9	演習7	「最近の世相と私たちの世代」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第10	演習8	「人間社会における科学の役割ー過去から未来へー」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第11	演習9	「私が会社で一番やりたい仕事」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第12	演習10	「今までに一番苦労して手に入れたもの」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第13	演習11	「挫折した経験と、そこからどう立ち直ったか」のアウトラインを完成させ、作文を書く。	
	第14	演習12	「自己を語るⅡ」のアウトラインを作り、完成させる。	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。授業評価アンケートを行う。		
自 学 自 習 の 内 容		アウトラインの作成と提出		
関 連 科 目		国語Ⅰ、国語Ⅱ、国語Ⅲ		
教 科 書				
参 考 書		『理科系の作文技術』木下是雄(中公新書)		
授 業 評 価 ・ 理 解 度		最終回到授業評価アンケートを行う。		
副 担 当 教 員				
備 考				